



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 7年 6月 1日発行

園長 伊賀 治

思いやりと感謝の心を育むために

アジサイが綺麗に色づき始める季節となりました。子どもたちは、この季節の自然に触れながら、日々いろいろな遊びを楽しんでいます。

一方で気温や湿度が高い日もあり、体調の管理が難しい時期になります。暑熱順化の言葉通り、体を少しずつ暑さに慣らしていくことが大切です。どうぞお気をつけてお過ごしください。

さて、過日は、さくら組・もも組・うめ組の保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、個人懇談会にお越し頂きありがとうございました。限られた時間でしたが、いろいろとお子様のお話を伺うことができ、貴重な時間とすることができました。6月～7月にかけて、すみれ組・れんげ組・つくし組を予定しております。よろしくをお願いします。

また、アクバス(体操教室3～5歳)参観ではご多用の中にもかかわらず、多数ご参観いただきありがとうございました。子どもたちからは、普段のアクバス体操より一段と張り切っている姿と最高の笑顔を見ることができました。毎週1回の体操教室の継続が、自分の体をうまく使いこなせる力が育まれることにつながればと思います。



【山田池公園・倉治公園へ～遠足とお弁当散歩へ】

もも組とさくら組と一緒に山田池公園へ遠足に行ってきました。行きは、津田駅から藤阪駅まで電車に乗り、帰りはバスで帰ってきました。山田池公園では、広々とした広場の草の上を走ったり、滑り台やアスレチックなどの遊具で遊び、お弁当も美味しくいただき、元気いっぱい遠足を楽しむことができました。

また、うめ組は、倉治公園までお弁当散歩に行ってきました。広場で遊んだり、お弁当を頬張ったり、楽しいひと時を過ごすことができました。食べている姿からは「毎日お弁当がいいわ」の心の声が聞こえてきそうでした。



【読書活動(読み聞かせ)の効果】

さくら組と・もも組では、倉治小学校の恒松校長先生と元倉治小学校校長の田村先生に読み聞かせに来ていただきました。限られた時間でしたが、園児たちは目を輝かせて聞き入っていました。小学校のことを聞いたり、質問したりする場面もありました。



読書習慣は、子どもの学力とも相関関係にあり、読解力や思考力を高め、また想像力を豊かにすることにもつながると言われています。小さい頃から、周りに本のある環境で育つことが読書習慣の定着にもつながります。

ご家庭でも時間を見つけて読み聞かせをしてみてもいいのではないでしょうか。

【避難訓練】

今回の避難訓練は、火災を想定し園外の駐車場まで避難しました。園児全員が、迅速に避難することができました。「お・は・し・も＝押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」も確認しました。今回は、交野消防署より、お越しいただきお話もしていただきました。消防車も広場に入れていただき、間近で見ることができました。また、園庭では水消火器の訓練も併せて行いました。毎月の避難訓練が、命を守るため「自分で考え行動ができる力」が育まれるよう取り組んでいきたいと思ひます。



【食育～野菜について考えよう～】

食育の取り組みとして、野菜について学習しました。「水に浮く野菜と沈む野菜は何か？」と質問され、「大根は浮くのかな？沈むのかな？」と考えを思いめぐらしていました。最後に「土の上に育つ野菜は浮くこと、土の中に育つ野菜は沈むこと」を教えていただきました。



こども園における食育の目標は、「お腹がすくリズムのもてる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」「食べ物を大切にする感謝の心を持つ子ども」などにあります。

食育のメリットは、こども園での食事では、箸の持ち方や「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶、食事の際の姿勢など基本的なマナーも身につくことにあります。今回のようなイベント的な取り組みにより食に対する興味・関心を持たせることに加え、毎日の給食を通じ、食育の目標を達成できればと思ひます。

園庭の花壇では、トマト・ナス・ピーマン・きゅうりを育てています。さくら組が水やりなどのお世話にしてくれています。子どもたちは収穫の日を心待ちにしています。